



■ 発行：渡島農業改良普及センター（本所） | 【電話】 0138-77-8242

今号

- 基本チェック
- 生産者の事例
- トレンド情報
- その他

地域の畜産農家・関係機関・普及センターが技術情報を通して結ばれるよう、平成28年4月に誕生！  
『基本チェック』、『生産者の事例』、『トレンド情報』の3ジャンルを中心にお届けします。

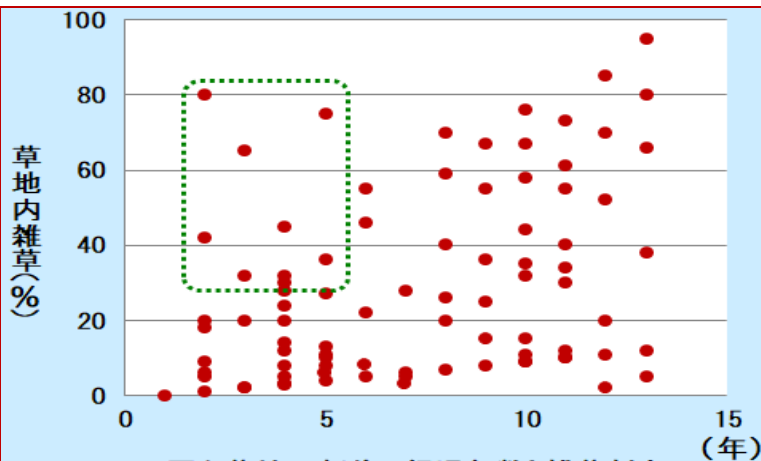
## 草地の植生維持に大切な“刈り取り高さ”

### サマリー

- ・草地更新後の植生は刻々と変化しており、3年ほどで“難防除雑草”に占有されるケースがある。
- ・植生に影響を及ぼす要因は一つではないが、収穫時の“刈り取り高さ”（刈り高）は重要である。
- ・刈り高が低いと再生草の立ち上がりが悪く、特にチモシーでは乾燥条件が重なると裸地になりやすい。

### 牧草密度の低下が早くないか？

- ・新しい牧草に播き替えても、わずか3年ほどで“難防除雑草”に占有されてしまった草地も散見されます(図1)。
- ・草地の植生は、季節単位で刻々と変化しています。植生に影響を及ぼす要因は一つではありませんが、当地区では収穫時の“刈り取り高さ”（刈り高）の影響があると考えます。
- ・牧草密度は低下していませんか？トラクタから下りて、草地に入って観察してみましょう。



北海道自給飼料改善協議会（2013年／渡島管内関係機関調べ）



### 刈り取り高さ「10cm」確保の極意

写真：「10cm」で収穫している草地（宗谷管内／農家事例）

10  
cm  
刈り

#### ① 異物の混入防止

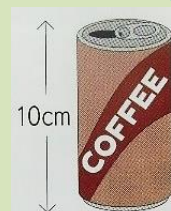
- 土壌、牛ふん堆肥等を拾わない

「サイレージ発酵品質」の改善  
(嫌な臭いのするサイレージにしない)

#### ② 牧草の再生を促進

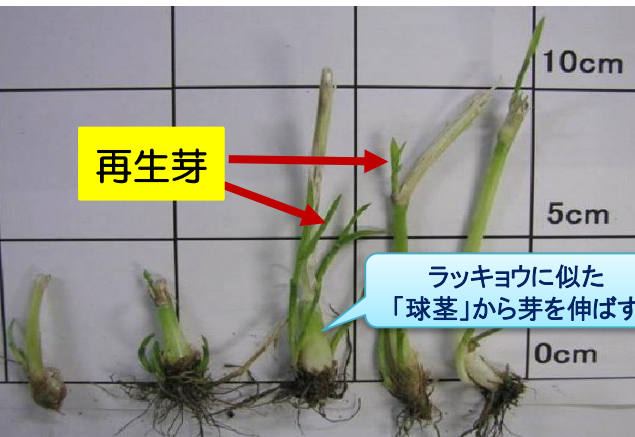
- チモシーでは“再生芽”を守る(カットしない)
- 立ち上がりを早め、年間総収量を確保

「草地植生」(牧草密度)の維持



# 収穫は「10cm」の刈り取り高さで・・・チモシー生態から考える

- ・チモシーは低温に強いものの競合力に“弱さ”があり、また、乾燥条件では衰退しやすいです。
- ・刈り高を「10cm」(以上)にすると、“再生芽”の多くがカットされずに守られます(写真1)。
- ・さらに、1番刈り後10日以内の追肥によって、茎数密度を維持し裸地発生防止につながります。



## チモシー主体草地 (2番草)

低めに刈っている農家



収穫9日目 \*収穫 6/29

刈り高10cm確保している農家



収穫7日目 \*収穫 7/1

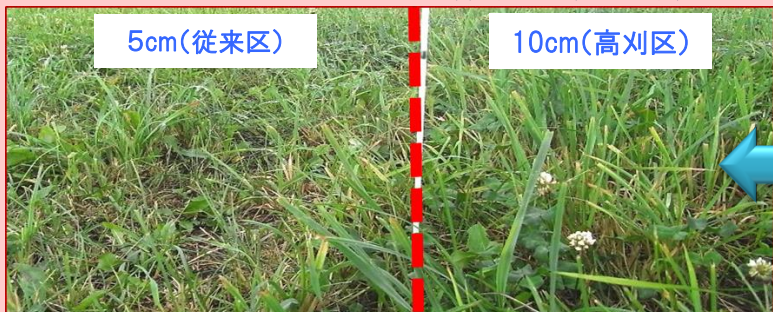
\*どちらも、1番刈り後の7/8に撮影(宗谷管内/農家事例)

## オーチャードグラスでも同じ・・・やはり「10cm」が有利

- ・再生が早いことが分かります。更新2年目の収量も多く、その後の草地への雑草侵入を抑制するものと考えられます。

### オーチャードグラス主体草地 (3番草)

5cm(従来区)



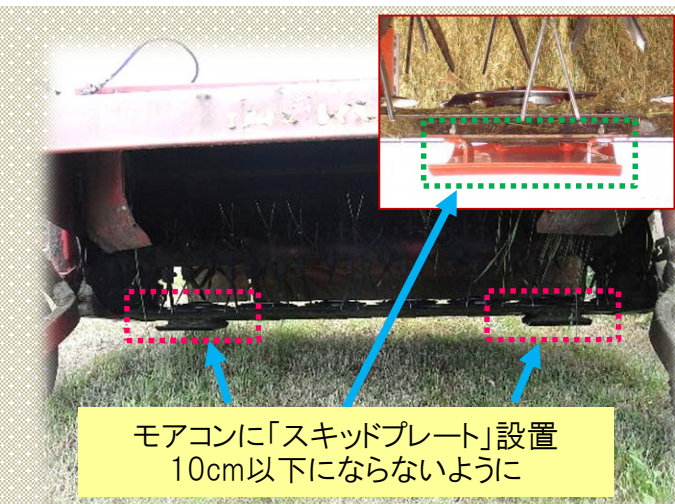
10cm(高刈区)

\* 2番刈り後の20日目に撮影(宗谷管内/試験区設置事例)

高くすると再生良好



## 一定の“刈り高”を確保する付属部品 (例)



今後

- 更新まもない草地ほど“刈り高”を高めに設定し、「裸地化」⇒「雑草侵入」を防ぎましょう。
- マメ科割合に応じた肥培管理を考えてみましょう。

### 【出展/参考文献】

- ・「草地管理における高刈りの実践～E町現地試験の調査結果より」(宗谷渡島農業改良普及センター)
- ・「優良飼料作物ホクレンのたね2019」

○詳しくは、渡島農業改良普及センター本所/畜産担当まで、お問い合わせください | 【電話】 0138-77-8242

渡島農業改良普及センター ホームページに掲載中

ダウンロードはここから(PDFファイル)

<http://www.oshima.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/tec/tikusan.htm>

渡島 営農技術情報

検索